

【テーマ】 コロナと学童保育 子どもの視点から考える

～ with コロナのなかで学童保育の生活づくりをどう進めるか ～

富士見市の報告

2020年9月12日

富士見市社会福祉事業団

南畑放課後児童クラブ 佐藤幸恵

誰も予想もしなかった事態が現在進行形で続いています。休校期間から分散登校までの長いトンネル…正直、毎日朝から晩まで開室することだけで精いっぱい。満足のいく対応が出来たとは言えません。反省を含めて振り返り、子どもたちを守る立場として、この先どのようにコロナと付き合っていくかを考えたいと思います。

1 コロナ禍の中で、学童保育指導員が感染症に気を配りつつも子どもの立場で何を大事にされてどのような実践をされてきたか。学校や行政と連携出来たこと、出来なかったこと。

(1) 富士見市の新型コロナをめぐる経過

●富士見市→市 ●社会福祉事業団=社 ●保護者=保

2月27日	社→保	感染予防と対応について（一斉メール）
2月28日	文科省	全国の公立小中学校休校要請（3月2日～春休みまで）
2月28日	社→保	市内小学校休校措置への対応 放課後児童クラブの児童受け入れ（一斉メール）
2月29日	厚労省	保育所・放課後児童クラブは原則として開所する方針
3月 2日	文・厚	居場所と人的体制確保のため、学校教員が「学習指導」という形で放課後業務に携わることが可能という見解
3月27日	富士見市	4月1日以降の学校再開の方針
4月 3日	富士見市	休校の延長（4月9日～4月12日）
4月 7日	政府	緊急事態宣言（おおむね1か月）
4月 8日	富士見市	放課後児童クラブの登室自粛のお願い
4月16日	富士見市	登室が定員の5割を超えるクラブへの教室提供の実施 （4月20日～5月10日） 教員が教室で対応／10～15人／9時～15時
4月28日	富士見市	休校延長（5月10日～5月29日まで） 分散登校について（6月1日～6月12日）
5月15日	富士見市	今年度の予定について （夏休み：8月1日～8月14日）
5月25日	市→社 富士見市	分散登校への対応要請 登室自粛の期間終了

(2) 南畑放課後児童クラブの状況

指定管理者＝富士見市社会福祉事業団が市内 11 校区 23 クラブを統一運営
南畑クラブは…

- ・狭小施設での運営（37名定員に対し65名の入室）
足の踏み場がない、おやつ時は一方通行、耳栓をして過ごす
- ・コロナ以前からの分散生活
3年生以上は学校教室（図工室）で宿題、雨天時は体育館

(3) コロナ禍の運営を振り返って

- ・出席状況…休校中は2/3の家庭が登室自粛
「集団の中へ行かせたくない・行きたくない」
「自営業だし、行かせたら申し訳ない」
- ・子どもたち…そわそわ落ち着かない、とにかく元気!!!元気でよかった!!!
ベタベタに甘える1年生たち、イライラする上級生たち
- ・感染予防…うがい、手洗い、消毒、マスクの徹底、1日2回の検温（健康観察）
施設やおもちゃの消毒、衛生用品（マスク、アルコール）の確保
- ・生活づくり…学校教室（図工室）や体育館を利用した分散生活
1・2年生と、3年生以上の2チームで入れ替える
学校施設は使用制限があり、時間に追われてしまう
- ・取り組み…休校中の体力づくり（ウォーキング、ザリガニ釣り）、コロナの紙芝居
簡易昼食の提供（手作り、外注、ローソン提供おにぎり等）
夏休みの公民館利用 ※多くの行事は見送り、縮小開催
- ・困ったこと…学校冷水機の使用禁止→移動時の水分補給の準備
学校遊具の使用禁止→遊びの制限（ボール等 NG、身体接触 NG）
もし体調不良の子が出て、静養する場所がない

【学校がない日の生活】 ※南畑クラブの場合

	8~9 朝	9~10 学習	10~12 自由	12~13 昼食	13~15 ゴロゴロ	15~16:30 自由	16:30~ おやつ	~19 自由
1~2年	クラブ	クラブ	校庭	クラブ		校庭	クラブ	
3~6年		図工室		図工室				

【学校がある日の生活】 ※南畑クラブの場合

	14:30 ☒下校	15	15:30 ☒下校	16~	~17	17~19 自由
1~2年	クラブ 宿題	クラブ おやつ		校庭	校庭	クラブ
3~6年	(授業中)		図工室 宿題	クラブ おやつ		

雨天で校庭が使えない
と体育館を借りますが、
16:45 撤収なので
慌ただしく時間に追わ
れてしまいます。

コロナ禍の下で、子どもと親に保障してきたこと

- 最後の砦になる

保育内容や保育の工夫（休所児童への対応を含めて）

- こんな時だからこそ、なるべくのびのび好きなことを
- お家で過ごしている子どもたちもたいへん（ゲーム、ネット動画、運動不足）

コロナ禍で出来なかったこと、すべきだったこと

- 登室自粛中の家庭へのフォロー
- 学習支援（まだ習っていない課題に取り組む子どもたち）
- 職員の打ち合わせ（新採用職員へのフォロー）
- おたよりなど、日常業務

学校や行政と連携出来たこと、出来なかったこと

- 学校…学校により、教室や体育館等の提供
学校により、校庭遊具や遊び道具の規制
学校により、子どもたちの学習指導（7時間・3週間）
- 行政…3密を避けるための分散生活の推奨
（所管が教育委員会に依頼し、学校の協力を仰いだ）
登室自粛要請&保育料は出席日数に応じた日割り計算
- 法人事務局…市内23クラブの統一した対応の指示、衛生用品の確保
コロナに関する情報提供、保育所感染症対応ガイドラインの共有
啓蒙ポスター、マスク制作等の広報、子ども食堂等からの食材提供
全クラブの出席人数を毎日集約して報告（クラブ→事務局→市）

2 今後もコロナが続くと想定される中で、これからの学童保育に求められると考えていること、生活づくりで留意や努力したいこと

●子どもたちへの影響を考える

マスク、消毒、触れ合い禁止、楽しいことが軒並み中止、おとなの不安感が伝播
→不自由さへのストレス、不安な気持ちを受け止める
感染リスクの回避と、子どもの権利保障を両立させるには？
少しでも、出来ること&楽しいことを模索していく

●生活づくり（分散生活）を工夫する

学年ごとのくくりで分断される仲間、分断される時間…おとな都合を押し付けない！

●保護者のたいへんさに寄り添う

交流会や懇談会の開催が難しい中、まずは日々に伝えあい、励ましを大切に